



うえの事務所通信

5月も下旬に入り、真夏日になる日が出てきたものの、まだまだカラッとしていて、過ごしやすい気候が続いていますね。

今時分は、夜は気温が下がり、朝と夜の気温差で体調を崩しやすいですので、くれぐれもお体には注意してください。

職場でのパワーハラスメント防止を義務付ける関連法案が4月25日に衆院本会議で可決され、5月8日には、参院本会議で審議入りとなりました。法案成立が大詰めを迎えてます。刑事罰まで導入されるか微妙なところですが、早ければ大企業は2020年4月から、中小企業は2022年4月から防止策が義務化される見通しです。

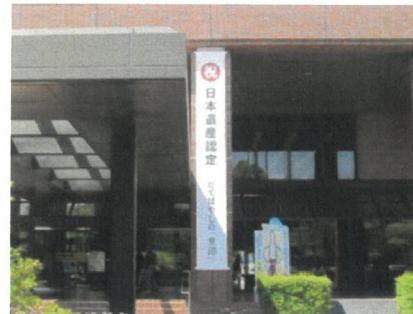
労働局による統計を見ると、職場での「いじめ、嫌がらせ」の相談は、ここ10年で10倍以上になっています。

また、転職サイトのリクナビNEXTの調査によると、退職理由の第1位が「上司・経営者の仕事が気に入らなかった(23%)」、第3位が「同僚・先輩・後輩とうまくいかなかった(13%)」です。

現在、未曾有の人手不足で、これは人口減少という構造的な問題が背景にあると考えられます。

退職理由が人間関係に起因することが多いことからしても、人手の確保にはハラスメント防止が必須です。

ところで、厚労省の調査によると、ハラスメント防止に一番効果があるのは、研修だとされています。当事務所では、3月に、顧問先様においてハラスメント研修を実施し、また6月にも他の顧問先様で実施する予定です。人手不足時代を生き抜くには、風通しの良い職場環境にすることが必須ですので、是非、研修などを採り入れて欲しいと思います。



5月20日に館林市の「里沼(SATO-NUMA)ー『祈り』『実り』『守り』の沼が磨き上げた館林の沼辺文化ー」が日本遺産に認定されました。

館林市内には、城沼、多々良沼などの沼があり、人々の生活や文化と密接に関係していて、これらの沼文化に歴史的な価値があると認められたもので、一市民として誇らしく思います。

今回の日本遺産認定では、城沼は「守りの沼」とされています。旧館林城は城沼のほとりにあり、北条氏が守っていた館林城を石田三成が攻めた際、城沼に大木を投げ入れて道を造る作戦を実行しようとしたところ、一晩で沼の道が沈んでしまい、作戦失敗に終わったそうです。

作家の村上春樹さんは、「走ることについて語るときに僕の語ること」という著書の中で、“たくさんの水を日常的に目にするのは、人間にとって大事な意味を持つ行為なのかもしれない。(中略) しばらくのあいだ水を見ないでいると、自分が何かを少しずつ失い続けているような気持ちになる。”と書いており、私もまた、同じように感じていて、城沼を擁するつつじが岡公園には、よく気分転換に行きます。

多くの市民が犬の散歩をしたり、スポーツをしたり、家族で遊びに来たりして、城沼やつつじが岡公園は、市民の生活を暖かく見守る存在であり、以前の「守り」とは違う意味で市民を守ってくれているように思います。